日本プロレタリア音楽家同盟
東京支部 ニュース No1
1932.9.1. 東京市外上戸塚 743

9月4日 口際青年デーのデモに参加しろ!

革命竞争を通じて立遅れを克服せよ

七月十日に開催された、我同盟第二回大会は、創立以来二ヶ年に亘る本部、東京支部執行委員会の重複を、最早同盟活動の進展上続け得ないことに一決し、新らしく東京支部執行委員会を設立した。支部機関確立と同時に、吾々が直面したのは、コップ加盟各団体間革命竞争最后期間としての、一ヶ月に亘る反戦文化斗争カンパニヤであった。大会の為に、その活動の殆んど全般を奪はれた吾々は、計画は、立てたが余りに、山積にされた仕事の立遅れのために、ただ足をひきずりながらあせりきみに追ひかけるばかりであった。そして創造的面に於ても組織的面に於ても見るべき成果を残し得ずして革命竞争のゴール、八・一を迎へたのである。八・一斗争について見れば吾々は、かかる状態で充分の成果を収めることは、不可能だったとは言へ、吾々は創立間ぎはの東京支部としては、力一ぱいに斗ったのである。吾々は、具体的に次の如く斗った。

一、東京の同盟員の過半数は、デモに参加すべく銀座に出かけた。 中検束二名、拘留一名

二、その夜、洲崎、失業者宿泊所天照園でに於て催された所謂慰安音楽会へ行動隊を組織して入り込みアヂビラを撒布した。聴衆約二百、宿泊所の失業者及び附近の労働者である。十数名の、視人を尻目にかけて、一部はビラをまきアヂ演説をし、他は、聴衆の中に入って、今日の音楽会の本質をばくろした。

同盟員諸君!

八・一を吾々は突発的にではあるが活潑に斗った。しかしそれは、勇敢な数名の同盟員の活動に止まり、才一次革命竞争の決勝点としての同盟活動の組織的、大衆的高まりを生まなかった。革命竞争の無計画性に依る不成績は、我同盟のみではなく、コップ加盟各団体に於ても示されたのである。が吾々は、かかる結果のまま、革命竞争を終らすべきではない。十月革命紀念日を、ゴールとして、正しい自己批判及び経験から、計画的に更に才二次革命竞争を遂行すべきである事が決議されたのである。

同盟員諸君!

吾々は、今コップ提唱の才二次革命竞争の才一期途上にある。才一回中間ゴールは、九月四日「口際青年デー」だ。だが青年デーを目前にひかへての東京支部の状態はどうか。残念ながら又しても甚だしい仕事の停滞である。創作活動の全き不振、組織活動の無統制、オーケストラ班、ハーモニカ班の自然的停帯、又財政部には切手代も無い有様である。これらの不活潑は、東京支部機関確立直後に於ける書記長の病気、常任書記の巡回公演に依る不在、数名の同盟員の帰郷、二、三の中心分子の病気等が可なりの打撃であった事はいなめない。併し、

東京支部同盟員諸君!

第十八回「口際無産青年デー」を前にして、書記局は陣容を備へ、組織部、財政部は革命竞争のプランを打ち建て、新らしい活動の決意に満ちてゐる。合唱班は、九月四日迄のプランを立て、活気ある練習に秋の斗争心を高めてゐる。

オーケストラ班、ハーモニカ班、創作班は、竞争のプランを立て、ただちに実行に移れ

立遅れを一気にとびこえて前進せよ! 組織は停滞があれば後退する。絶えざる前進、それのみが組織を大衆化する。

前進せよ! 才一期ゴールとしての青年デーは間近だ。

革命竞争を通じて、東京支部を強化せよ!

東京支部中央部の構成

常任中央委員
青木、土屋、武者、吉原、
結城、新島、河野、
原、福田、

各専門部設置と部員の任命

★書記局
書記長 河野
常任書記 赤松
書記 青木、土屋、

★組織部
部長、土屋、
部員、永田、岩波、野原、福田、八吉、武者、山辺、

★教育部
部長、青木、
部員、高杉、吉原、

★キカク部
部長、吉原、
部員、赤松、

★移動部、
部長、武者、
部員、西川 斎藤、

★財政部
部長、結城、
部員、片岡、

全同盟員の積極的参加に依って
オ二次革命競争の成功的遂行へ！

コップ加盟各団体間のオ一次革命競の不成功にかんがみ、コップに依り更にオ二次革命競争が提唱された。東京支部はいち早く之を取り上げ、取りあへず、九月四日「国際無産青年デー」迄を其のオ一期として
特に青年を対象とした反戦、反ファシズムの為の斗争。
市電への力の集中。
の二つのスローガンを決定し、總ての力を之に集中すべく、可なり具体的のプランを立てた。

併し今、之は單なるプランに終らんとして居る。

八月中旬ー下旬に於て決定すべく予定された十一・七日迄の全プランも未だ教育部、組織部、移動部に於て決定を見たのみであり、それすら多くの討論を必要とするプランの草案に過ぎない。

東京支部同盟員諸君！

諸君の積極的参加により、科学的、具体的プランの設定と、その成功的遂行を斗ひ取れ！

教育活動プラン

オ一回研究会（九月上旬）　青年デーを中心に。オ一次革命競争克服の為
以上を中心として各サークルでの座談会開催

オ二回研究会（十月上旬）　戦争とファシズムを中心とし、之と反動音楽の
研究へ発展さす

オ三回研究会（十一月上旬）　以上を基礎として、各サークルに於て、軍歌の反動性
をばくろして、斗争歌の研究に及ぶ
、創作の為の研究会、特に農民音楽の研究

組織活動プラン

		八・一現在	一〇・七予定	一一・七予定
同盟員	総数	八一	一〇〇	一三〇
	労働者%	一四%	二〇%	三〇%
サークル	総数	三九	四六	五五
	大工場内サークル	一一	一八	二七
	サークル員	約五〇〇		
	壁新聞	五〇	二三〇	三八五
出版物（サークル[illegible]誌）	プロ文化	一	五	一〇
	働く婦人	〇	五	一五
	ウリトム	二〇	三〇	五〇
	大衆の友	一	一五	四〇
	其の他	三	一〇	二五

移動活動プラン

	八・一現在	一〇・七に於ける予定	一一・七に於ける予定数
移動回数（月平均）	一〇	一六	二〇
小公演（月）	三	三	四
動員数	五六〇	七五〇	九〇〇
新部員獲得	三	六	一〇
レパートリー充実	三〇	三五	四五

支部声楽班は東京プロレタリア合唱團に発展、活動に移った！

専門技術による色別けに過ぎなかった従来の各班はそのまゝの形態ではその活動性を狭くするものであり、当然専門音楽團体へ発展さるべきものである。声楽班はそのトップを切った。声楽家としての専門技術のより良き発展のために、より良き活動のために声楽班の発展的形態である東京プロレタリア合唱團は確立されたのだ。勿論名稱は暫定的に決められたのでもっと適切な團名を諸君の共力によって付けたい。現在の合唱團員は十三名、現在合唱が中心だが独唱者の養成、シュプレッヒコール、オペレッタの研究にとりかゝる。我々の規則的な練習は開始された。九月四日までに「愛する大陸」「十月」の完成に突撃してゐる。

東京プロレタリア合唱團

各専門部の活動状態

★組織部
同盟員全体の組織活動への無関心の中に組織部はその方針を大衆化し得ず、孤立した形でみすみすサークルを失ひつゝある。ただ「青年デー」を期して新しく出発しやうとしてゐる。

★教育部
研究会のプランは立てたが全く實行されなかった。

★財政部
同盟支部基金袋を作製したがその成果は全くあがらない。同盟費納入率は降り坂を示してゐる。

★企劃部
革命記念日を中心に音楽会を企劃中。

★移動部
城北文化クラブ、カメ戸タク児所その他座談会等へ出動。

同盟費を完納せよ！！

同盟費納入の革命競争を各技術班で捲き起せ！

第一次革命競争成績

組織活動

	同盟員数	労働者%	サークル数	サークル員数	出版物
四・一六現在		/			
六・一〃	七〇		二八	三〇〇	音新 五〇 文新 八 働く婦人 八 新教 一
八・一〃	八一	一四%	三九	五〇〇	音新五〇 文化一 婦人〇 プロ芸三〇 未来の友一 他三

サークル産別表

産別	交運	金属	化学	電気	出版	通信	食料	土建	一般	街頭	学生	ビル	計
六・二現在	六	四	二		一				五	六	四		二八
八・一〃	九	四	三	一	一	二	一	二	一	八	四	三	三九

教育活動

		四月	五月	六月	七月
大体の方針		メーデーに対しての準備活動	メーデー斗争の発展強化	コップ拡中の為に アハ大会準備	反戦文化斗争週間のために
研究会	研究会題目	戦争とファシズム 一九三二年メーデーを如何に斗ふか 旧メーデー歌批判と新メーデー歌の為に（流会）		プロ文化「年次大会の為に」を中心として 大会を目ざして「組織問題」	反戦文化斗争週間の為に
	予定	三		二	一
	実行	二		二	一
ニュース			一回発行	二回発行	一回発行

創作及演奏活動

創作活動に於ては、四月（メーデー準備活動）に於て、歌曲四・オペレッタ一を完成したのみ。ハーモニーの為若干斗争歌を編曲したのみ。

演奏回数表

	大公演	小公演	移動
四月		三	一一
五月			一六
六月			一四
七月		三	約一〇

3. 記録、準備の不備の為、残念ながら、之以上報告する事が出来なかった。以上の報告は総て結果のみで、大切なプランが書かれてゐない。科学的なプランが全面的に立てられなかったが為である。

東京支部同盟員の動静

検束。室井、官、（八月一日）（八月十五日）

拘留。河野（八月一日より十二日まで）

巡回公演にて農村へ。赤松。（八月十二日より十七日まで）

病気静養中。峯、吉原、

帰郷中、西川、岩浪、八寺、長谷川、澁谷、木本、林、大久保、原、

★書記局より

東京支部は現在八一名の同盟員を有してゐる。我々は八一の同盟員数から多くの活動を期待する。しかし恥ずべきことには支部は未だ名ばかりの同盟員、幾度かの警告にもかゝわらず、同盟費すら納めず、何等同盟の活動に参加してゐない同志がゐる。各種研究会、集会を見よ。動いてゐるメンバーは三十名たらずだ。我々はかゝる日和見主ギを克服しなければならない。同盟員は各自部署につけ！

住所変更、旅行、病気等の場合は必ず書記局へ通知せよ！

ロシア革命記念を期し

同盟機関誌が発行される！

名称は「プロレタリア音楽」

音新三百円基金カンパに応じろ！